

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

**社会（地理的分野）**

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

## I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	新編 新しい社会 地理	1・2年
17 教育出版	中学社会 地理 地域にまなぶ	1・2年
46 帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1・2年
116 日本文教出版	中学社会 地理的分野	1・2年

## II 調査研究の観点

### 1 内容

- (1) 地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能が身に付くために、どのように工夫されているか。
- (2) 社会的事象の地理的な見方・考え方をを用いて多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養うために、どのように工夫されているか。

### 2 組織・配列・分量

- (1) 課題を追究したり解決したりする活動を通して学ぶために、どのように工夫されているか。
- (2) 他教科等や他分野、小学校の学習との関連を図るために、どのように工夫されているか。

### 3 生徒の発達の段階への配慮

- (1) 現在の社会、実生活と関連させながら興味・関心を引き出し、追究意欲を喚起するために、どのように工夫されているか。
- (2) 用語、表記、資料等の適切さ（内容、構成、数等）や紙面の見やすさ（フォント、大きさ、配色、鮮明さ等）について、どのように工夫されているか。

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (地理)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
2 東 書	新編 新しい社会 地理	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)P. 6の「地理を学ぶ5つのミカタ」で、生徒にミカタ（視点）を与え、地理的な見方・考え方を身に付けさせようとする工夫をしている。また、P. 15のような「スキル・アップ」のコーナー（全31か所）があり、基礎的・基本的な技能を身に付けられるような工夫をしている。</p> <p>(2)P. 64-65のような見開き左ページ上の写真を使われているため、導入時に生徒が興味をもつような工夫がされている。そのため、導入資料をもとに「学習課題」を設定しやすくなっている。左ページ下の「チェック」を意識しながら、生徒が考察したり、判断したりし、「トライ」を通して、学習したことを活用して表現できるように工夫されている。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1)P. 60-63のように節（小単元）の導入ページで、二次元コードを活用することで、これから学ぶ内容の見通しが持てるように工夫されている。そのため節を貫く課題を設定しやすく、1時間ごとの授業につながりがもちやすくなっている。</p> <p>P. 74-75のように節の終わりに学習のまとめが設定されており、思考ツールを活用して整理・分析できる内容となっているため、探究課題の解決につながりやすい。また、「みんなでチャレンジ」により深い学びが実現できるように工夫をしている。</p> <p>(2)節（小単元）の導入ページに「小学校の社会で習ったことば」が載せてあるため、既習事項の確認ができ、小中の学習を円滑に接続できるような工夫がされている。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1)P. 39のような「未来にアクセス」という持続可能な社会の実現を考えるコラム（全21か所）があり、生徒の興味や関心を引き出すような内容となっているため、「持続可能な地域の在り方」につながっている。また、「もっと解説」があり、生徒の更なる深い学びにつながる工夫をしている。</p> <p>(2)視力や色覚に関する特性に配慮した工夫をしている。グラフや図などの資料を簡素化し、見やすくする工夫をしている。</p>

		<p>&lt;総評&gt;</p> <p>単元の導入時に、二次元コードを活用したり、小学校の社会で習ったことばを振り返ったりすることで、これからの学習の内容に興味や関心をもちやすく、単元の学習に取り組みやすい。また導入資料をもとに授業課題を設定しやすく、1時間の授業の見通しがもてる構成となっている。</p>
--	--	--

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (地理)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
17 教 出	中学社会 地理 地域 に学ぶ	<p>調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)</p> <p>&lt;内容&gt;  (1)P. 7のように「地理の技」というコーナー（全8か所）があり、実際に活動することを通して、地理の学習で身に付けたい技能や表現力を養うことができるような工夫がされている。また、二次元コードを通して解説動画を見ることができ、生徒の技能習得に役立つように工夫している。  (2)P. 50-51 のように見開き左ページ上の導入資料をもとに「学習課題？」を設定するつくりになっているため、右ページ下の「確認！」を意識しながら、生徒が考察したり、判断したりすることができるような工夫がされている。また、「表現！」を通して、学習したことを活用して表現できるように工夫している。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;  (1)P. 44-45 のように節（小単元）の導入ページで、これから学ぶ内容の見通しが持てるようにし、節を貫く課題を捉え、1時間ごとの授業につながる工夫をしている。また、P. 60-61 のように節の終わりに学習のまとめが設定され、学習したことを振り返ったり整理したりする工夫をしている。  (2)見開き右ページの下欄に地理の他のページや歴史や公民の学習内容との関連を示し、横断的・系統的に学ぶことができる工夫をしている。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;  (1) P. 158 の「防災から減災」の授業で使われる資料に、「富士市の津波避難マップ」が使われており、生徒の興味や関心を引き出すような工夫をしている。また、P. 9のように「地理の窓」というコラム（全53か所）があり、「ウクライナ問題」など現在の社会と関連する内容を取り上げることで、学習を広げたり深めたりする工夫をしている。  (2)カラーユニバーサルデザインを意識した優しい配色で構成されており、視力や色覚に関する特性に配慮した工夫をしている。また、地図や写真などの資料が掲載されている場所と本文の色分けがされていて非常に見やすい。他に教科書内に登場するキャラクターも多様性に配慮しており、どの立場の人たちも安心して使用できるつくりとなっている。</p>

		<p>&lt;総評&gt;</p> <p>単元ごとの資料やグラフが充実しており、1 時間ごとの授業の見通しがもちやすいため、生徒自身が学びを追究しやすい構成となっている。また、現代的な課題も取り扱っているため自分ごととしてとらえやすく、主体的に課題を解決できるような内容として非常に効果的である。グラフや資料の配置や配色も工夫されているため、どの生徒も安心して教科書を活用した学習が期待できる内容となっている。</p>
--	--	---

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (地理)
-----	----------

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
46 帝 国	社会科 中 学校の地理 世界の姿と 日本の国土	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)P. 5のように学習に必要な技能を習得する「技能をみがく」というコーナー（全21か所）があり、基礎的・基本的な技能を習得し、情報を収集・分析ができるような工夫がされている。</p> <p>(2)P. 70-71 のように見開き左ページ上の導入資料をもとに「学習課題」を設定するつくりになっているため、右ページ下の「確認しよう」で先を見通しながら、生徒が考察したり、判断したりすることができるような工夫がされている。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1)P. 64-65 のように節（小単元）の導入ページでは「写真で眺める」があり、単元の学習に対する興味・関心を高め、これから学ぶ内容の見通しが持てるようにし、1時間ごとの授業につながる工夫をしている。また、P. 78-79 のように節の終わりに学習のまとめが設定され、思考ツールを用いて学習したことを振り返ったり整理したりする工夫をしている。</p> <p>(2)見開きページの左ページの下欄に「小学校・歴史・公民・他教科との関連」を示し、小学校も含めて横断的・系統的に学ぶことができる工夫をしている。また、「地図帳活用」のコーナーがあり、位置や分布、他地域との結びつきなどを地図上で捉えることができるなど活用がしやすくなっている。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1)P. 69 のように「地理プラス」というコラム（全24か所）があり、地域の特色を取り扱った内容を取り上げることで、生徒の興味や関心を引き出すような工夫をしている。また、「未来に向けて」というコーナー（全31か所）があり、持続可能な社会を実現するための「環境」や「防災」などの6テーマを扱い、SDGsの達成に向けて主体的に取り組める工夫をしている。</p> <p>(2)カラーユニバーサルデザインを意識した色づかいになっていて視力や色覚に関する特性に配慮した工夫をしている。また、P. 167 のような日本の諸地域の単元の導入ページのイラスト地図によって生徒が親しみやすくなる工夫をしている。</p> <p>QR コンテンツを活用することで、生徒の調べ学習などがしやすくなり、個別最適な学びを実現できるような工夫がされている。</p>

		<p>&lt;総評&gt;</p> <p>学習課題を設定するための導入資料が充実しており、カラーユニバーサルデザインにも配慮された配色となっているため、活用する資料も見やすく、生徒にとって学習の見通しと振り返りがしやすい作りとなっている。</p>
--	--	---

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (地理)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
116 日 文	中学社会 地理的分野	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) 巻頭の P. 3-4 の「地理的な見方・考え方って？」で、生徒に地理的な見方・考え方を身に付けさせることで、これからの学習の見通しを立てる工夫がされている。また、P. 8以降に「見方・考え方」の例が示されているため、生徒がどのような視点で学ばよいか分かりやすい構成となっている。他に P. 8 のような「スキルUP」のコーナー(全 37 か所)があり、基礎的・基本的な技能を整理して身に付けられる工夫をしている。</p> <p>(2) P. 56-57 のように見開き左ページ上の導入資料をもとに「学習課題」を設定するつくりになっているため、右ページ下の「確認」を意識しながら、生徒が考察したり、判断したりすることができるような工夫がされ、「表現」を通して、学習したことを活用して表現できるように工夫をしている。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) P. 48-49 のように自然環境と人々のかかわりを学習した後、P51 のように節の問いを立てることで、単元の学習への見通しがもちやすくなり、1 時間ごとの授業につながる工夫をしている。P. 60-61 のように節の終わりに学習のまとめが設定され、思考ツールを活用して学習内容を振り返ることができるように工夫をしている。また、「議論してみよう」で、州や地方が抱える課題について考察、構想できるような工夫をしている。</p> <p>(2) 見開きページの左ページの下欄に小学校の学習や歴史や公民の学習につながりを示し、小学校も含めて系統的・発展的に学ぶことができる工夫をしている。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮(表現)&gt;</p> <p>(1) 「地理+α」では、「コロナウイルス感染症」や「ウクライナ問題」などの現在の社会問題に関わる教材を取り扱い、生徒の興味や関心が引き出されるように工夫されている。また、P. 50 のような「持続可能な地域をめざして」というコラム(全 16 か所)があり、生徒の深い学びにつながる工夫をしている。</p> <p>(2) 視力や色覚に関する特性に配慮した工夫をしている。教科書の二次元コードから生徒の学習進度に合わせた確認小テストができ、個別最適な学びが実現できる工夫をしている。</p>

		<p>&lt;総評&gt;</p> <p>教科書全体での学習を通して、生徒自身が「問い」を立てやすく学習の見通しと振り返りができる単元構成となっており、「何ができるようになるのか」が分かる内容となるよう工夫されているため、活用しやすい。</p>
--	--	--